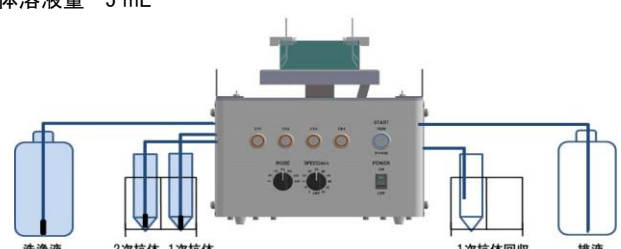



# Auto Western Multi 簡易マニュアル

## 自動抗体反応運転

Ch選択	1	使用するチャンネル(Ch1~Ch4)を選択する。	
MODE 選択	2	「MODE」ツマミで以下のプログラムから選択 <b>P1:</b> ①ブロッキング1時間→洗浄、②1次抗体反応1時間→洗浄、③2次抗体反応1時間→洗浄 / 3時間45分 <b>P2:</b> ①ブロッキング1時間→洗浄、②1次抗体反応2時間→洗浄、③2次抗体反応1時間→洗浄 / 4時間45分 <b>P3:</b> ①ブロッキング1時間→洗浄、②1次抗体反応12時間→洗浄 / 13時間25分 <b>P4:</b> ①ブロッキング1時間→洗浄、③1次+2次抗体反応1時間→洗浄 / 2時間30分 <b>P5:</b> ③2次抗体反応のみ1時間→洗浄 / 1時間25分	動作時間の目安
	3	装置流路がきれいであることを確認	
準備	4	タンパク質を転写したメンブレンを用意し、ブロッキング液が入った反応容器に入れる。 2槽式容器:ブロッキング液量 10 mL 4槽式容器:ブロッキング液量 5 mL *P5モードで稼働させる時は、ブロッキング液ではなく、洗浄液を反応容器に入れる。	
	5	1次、2次抗体溶液を遠沈管等に入れ、注入用の各専用チューブをセットする。 1次抗体回収用チューブは、1次抗体回収用容器にセットする。 2槽式容器:抗体溶液量 10 mL 4槽式容器:抗体溶液量 5 mL	
			
	6	洗浄液(TBS-T等)をボトルに用意し、洗浄液用チューブをセットする。 チャンネルを1個使用した場合の 各プログラムでのおおよその必要洗浄液量 <b>P1, P2:</b> 500 mL <b>P3:</b> 300 mL <b>P4:</b> 350 mL <b>P5:</b> 200 mL	
	7	排液用ボトル(1-2 L程度)を準備し、排液用チューブをセットする。 反応容器を振盪台の上に置き、使用するChの左右のノズル固定具を反応容器にセットする(下図参照)。 長いノズル→ 容器の底に接地、 短いノズル→ 容器の側面に接地	
	8		
	9	電源スイッチをONにする。	
	10	「SPEED/min」のツマミで振盪速度セットする。(稼働後に変更可能)	
自動運転	11	「START」ボタンを押す。	
	12	ブザーが鳴り、運転終了。メンブレンを反応容器から取り出して検出等を行う。	
	13	回収された1次抗体溶液を冷蔵等の適切な条件で保存する。	
	14	使用後に必ず自動洗浄モード(AW)による洗浄を行ってください。	

## 自動洗浄モード(AW)

自動洗浄 モード	1	一度電源スイッチをOFFにし、再びONにする。
	2	使用したチャンネルの洗浄液、1次抗体、2次抗体の送液用チューブを、1チャンネルにつき約250mLの洗浄液(TBST等)が入った洗浄用ボトルに入れる。使用チャンネル数に応じて洗浄液を増やす。 廃液チューブと1次抗体回収用チューブは、廃液ボトルに入れる。
	3	「MODE」ツマミを「AW」にセット。「START」ボタンを押し、流路の自動洗浄を開始する。ブザーが鳴り、1次洗浄が終了。
	4	一度電源スイッチをOFFにし、再びONにする。
	5	洗浄液、1次抗体、2次抗体の送液用チューブを、1チャンネルにつき約250mLの蒸留水が入った洗浄用ボトルに入れる。 使用チャンネル数に応じて液量を増やす。
	6	「START」ボタンを押し、流路の自動洗浄を開始する。ブザーが鳴り、2次洗浄が終了。
	7	電源スイッチをOFFにする。

## 振盪モード(SW)

振盪 モード	1	振盪台に反応容器を置く。
	2	電源スイッチをONにし、「MODE」ツマミをSWにセット
	3	振盪速度調節ツマミをセット。STARTボタンを押す。(振盪中に速度調節可能。) STARTボタンをもう一度押すと一時停止。再開する時はもう一度押す。
	4	使用後、電源スイッチをOFFにする。